

北上市総合計画 2021～2030 令和5年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和4年度）

基本方針	1.未来に輝く人づくり
基本施策	1-2.子どもの健やかな成長を守る環境づくり
関連するプロジェクト	1.子育て寄り添いプロジェクト

将来の社会の主役となる子どもたちが安心して成長できるよう、市全体で子どもの最善の利益の実現に努め、関係機関と一層の連携を図り、家庭と子ども一人ひとりに最適な支援を継続的にまいります。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	A
------	---

R5事後	2
------	---

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象:R4) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R5に着手予定・着手済み ◆:R6以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	健康 こども部	●	子育て世代包括支援事業	①	新生児訪問指導割合はR3より増加しており、期待値も上回っている。  支援が必要な人へ支援プランを作成し、妊娠前から切れ目のない支援を実施できている。	A (B)	出産後は全産婦へ電話確認を行い、希望者全員に訪問指導を行っている。  妊産婦リスクアセスメントシートを活用し、支援プラン作成者を判断している。	新型コロナウイルスによる影響もあり、訪問指導を希望しない人もいる。	◇継続して事業を実施。R5.2～出産・子育て応援事業として、切れ目のない支援に加え、経済的支援も開始した。
2	健康 こども部		支援を必要とする子どもや家庭への支援の充実	②	児童発達支援事業の利用者の満足度は増加し、期待値を上回った。  施設内外の研修機会を確保し、療育の質の向上を図った。	A (C)	十分な療育が行えるよう、療育時間を見直した。  ・事務分担や療育日を見直し、研修を受けられる時間を作った。 ・登陸園システムの導入により、事務時間が削減された。 ・Wifi環境が整備され、職場内でweb研修を受けられるようになった。		◇北上市こども療育ネットワークの運用開始により、事業所選択及び見学予約ができ、早期に療育を開始できる仕組みを構築した。 ◇定期的に研修機会を確保し、資質向上に努めていく。 ◆児童福祉法の改正(令和6年4月1日施行)に合わせ中核的役割を果たすよう機能強化を図る。 ◆専門職を確保し支援体制を整備していく。
3	福祉 部		生活に困窮している子どもへの学習支援の充実	未設定	事業に参加したことにより希望する学校に進学できたり、事業に参加し進学した高校生が学習ボランティアとして活動に参加するなど、事業の成果が出ている。 学習支援事業の事業内容や開催場所に対するニーズ把握まで至らなかった。	B (B)	学習ボランティアの確保が難しくなっている。  新型コロナウイルスの影響により年51回のうち6回中止した。 (予定51回 実施45回)		◆ニーズ把握を行うとともに、「子どもの居場所事業」を行う団体と連携し、支援方法の検討を行う。
4	健康 こども部		「子どもの居場所づくり」に対する支援の充実	③	子どもの居場所づくりに取組む「子ども食堂」の開催場所数は、期待値は下回ったものの1増となっている。  既存の団体は、フードパントリーなど工夫した取り組みを実践していた。	B (B)	当市の事業を利用して開設した団体が活動を続けているため、収支状況の確認を行い、必要に応じて助言を行った。  コロナ禍により開催回数は減少したものの開催手法の工夫が奏功した。		◇今後も団体からの意見や運営状況の把握に努める。
5	健康 こども部	●	児童虐待の発生防止、早期発見・対応	④	児童虐待により死亡に至った件数は無い。  令和4年度における新規虐待ケースは48件、年度末における全体ケース世帯数は41世帯(前年度3月末42世帯)である。	A (A)	死亡に至る重大事案とならない様、関係機関と連携しながら適切に支援を実施した。  支援拠点を中心に関係機関と連携を図りながら支援を実施している。		◇児童福祉法の改正(令和6年4月1日施行)に合わせた各関係事務整理の整備
6	健康 こども部		子どもの貧困対策の推進	⑤	(R4調査未実施)  ・第2期北上市子ども・子育て支援事業計画に位置付けられた子供の貧困対策事業について取り組んだ。 ・子育て世代包括支援センターにおいて、貧困家庭に限らず子育て世帯の相談等に幅広く対応した。 ・子どもの権利を保障する方策については検討できていない。 ・国の多様な給付金を支給し、低所得の子育て世帯の経済的支援を行った。	B (B)	具体的な施策として、第2期子ども子育て支援計画に位置付けられた教育支援、生活支援、生活支援、経済的支援、就労支援の活動に取り組んだ。 ・相談体制の充実にあたっては、子育て世代包括支援センターが総合相談窓口となって関係部署につないでいる。 ・多子世帯応援給付金がお金のかかる多子世帯の一助となっている。	新型コロナに伴う景気の低迷によるためか、子育て世帯の貧困に伴う家庭相談が増加傾向にある。	◇相談支援体制は継続して、子育て世代包括支援センターを総合相談窓口として、相談支援を行う。 ◇第2期子ども・子育て支援事業計画において位置付けられた子どもの貧困対策施策について、継続して取り組む。 ◇子どもの権利を保障する方策について、条例の必要性等を含め、他市の事例等を研究する。
7	健康 こども部		ひとり親家庭等への自立支援の推進	⑥	(R4調査未実施)  ・ひとり親に対し、児童扶養手当、ひとり親家庭利用費給付などを実施し、経済的負担の軽減を図った。 ・ひとり親の就労や資格取得を促進するため、高等職業訓練給付金等を支給した。 ・低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)を支給し、コロナ禍で困窮するひとり親家庭の経済的支援を行った。	B (B)	各種事業については、滞りなく実施し、ひとり親家庭を支援している。 ・児童扶養手当の現況届のタイミングに合わせ、県の自立支援員による相談対応、ハローワークの就業相談の窓口を開設し、ひとり親家庭が相談しやすい環境を整備した。  コロナ禍による景気低迷の中、ひとり親の資格取得に係る給付金の申請が例年よりも多くあった。		◇児童扶養手当、ひとり親家庭医療費給付、高等職業訓練促進給付金の支給等を継続して行う。 ひとり親に対する相談支援の充実にあたり、あるべき姿を検討するため、他市の事例を研究する。
8	健康 こども部		支援を必要とする子どもや家庭への支援の充実	⑦	全ての幼稚園、保育園、認定こども園で障がい児保育を実施できた。  幼稚園や保育所等で障がいや発達遅れのある児童を支援する保育士等を追加で配置しきめ細やかな保育を実施した。	A (A)	集団保育を行うことで、それぞれに成長が見られ、円滑な就学に向けた準備ができた。  私立の幼稚園や保育所等で障がいや発達遅れのある児童を支援する保育士等を追加で配置するため、補助金を交付し、人材確保の支援を図った。		◇集団保育を行うことで、それぞれに成長が見られ、円滑な就学に向けた準備ができることから、今後も支援が必要な児童に対応する保育士等を追加で配置していく。

凡例 ●実績値 — 期待値

指標 ①		指標の説明								指標 ②		指標の説明								指標 ③		指標の説明										
新生児訪問指導割合	健康こども部	%	年間出生数に占める赤ちゃん訪問指導を実施した割合										児童発達支援事業(こども療育センター)の利用者の満足度										子どもの居場所づくりに取り組む「子ども食堂」の開催場所									
			担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
			実績値		60.9	44.1	56.6	73.2						実績値		81.30	83.8	78.6	87.3					実績値		4	4	4	5			
			期待値 ※R7は目標値		60.9	61.6	62.3	63.0	63.6	64.3	65.0			期待値		81.3	81.917	82.533	83.15	83.767	84.383	85			期待値		4	4.7	5.3	6.0	6.7	7.3
備考											備考																					
児童虐待死亡事案件数	健康こども部	件	福祉行政報告例年度報 第45児童相談種別対応件数の児童虐待相談として受理した件数のうち、児童が死亡に至った件数										子どもの貧困率										ひとり親世帯の貧困率									
			担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
			実績値		0	0	0	0						実績値		9.6								実績値		41.6						
			期待値 ※R7は目標値		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0			期待値		9.6	9.5833	9.5667	9.55	9.5333	9.5167	9.5			期待値		41.6	41.6	41.6	41.6	41.5	41.5
備考											備考			未実施	未実施	未実施	調査予定					備考			未実施	未実施	未実施	調査予定				
幼稚園・保育園・認定こども園での障がい児保育の実施園	健康こども部		障がい児・支援児が入園を希望した場合に、加配の職員を配置するなどして、受入を行う施設の割合。		-								指標 ⑧		指標 ⑧								指標 ⑨		指標 ⑨							
			担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
			実績値		全園	全園	全園	全園						実績値																		
			期待値 ※R7は目標値									全園																				
備考																																
指標 ⑩	健康こども部		指標 ⑩		指標 ⑩								指標 ⑪		指標 ⑪								指標 ⑫		指標 ⑫							
			担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
			実績値											実績値																		
			期待値 ※R7は目標値											期待値																		
備考																																
指標 ⑬	健康こども部		指標 ⑬		指標 ⑬								指標 ⑭		指標 ⑭								指標 ⑮		指標 ⑮							
			担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
			実績値											実績値																		
			期待値 ※R7は目標値											期待値																		
備考																																